

式 辞

雪におおわれていた大地もようやく顔を出し、春の日差しが降り注ぐ季節となりました。

本日、ここに、

保護者の皆様方の祝福と激励の下、令和四年度北海道長万部高等学校入学式を挙行できますことは、この上ない慶びでございます。ご多用中にもかかわらず、ご臨席を賜りました皆様方には、衷心よりお礼申し上げます。

ただ今、入学を許可された新入生の皆さん、入学、おめでとうございます。私たち、長万部高等学校教職員一同、心から歓迎いたします。

また、保護者の皆様には、お子様が本日晴れて、長万部高等学校の生徒として新たなスタートを切られましたことに対し、心よりお祝い申し上げます。

本校といたしましては、お子様の立派な成長を目指し、皆様と力を合わせて、充実した教育活動に取り組んでまいりますので、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、皆さんの高校生活のスタートに当たり、二つの歓迎の言葉を贈りたいと思います。

第一は、「主体的に行動し、問題を解決する」ということです。

これからの時代は、超スマート社会、ソサエティ5.0が到来するとともにAIの進化により生活が大きく変化する時代になります。また、地球規模の複雑な問題、特に、人口爆発や地球温暖化による資源の枯渇化、新型のウイルスによる感染症など近い将来、大きな課題となることが予想されています。このような予測不可能な時代に自ら課題を解決し危機を乗り越えるためには、仲間と協力し主体的に行動していかなければなりません。

課題解決のためには学問を俯瞰する力が必要であり、その点で、学問の基礎・基本をしっかりと学ぶ高校教育はとても重要であると言えます。

皆さんには、本校の教育活動を通して、学問に広く触れるとともに、その学びを通して、思考力や判断力、表現力、さらには問題解決能力など、大いに実践力を養ってほしいと思います。

第二は、「地域に学び、地域に貢献する力を磨く」ということです。

長万部町には高校が本校しかありません。皆さんはこの地域のことをどのくらい理解していますか。自然、文化、歴史、産業など、他の地域の人に長万部の素晴らしいところを語ることができますか。本校においては総合的な探究の時間で *oh my project* と題し探究活動を実施し、この地域について、課題発見とその解決に向けて取り組んでいきます。

この探究活動では、皆さんが積極的に地域に出て、地域の方々と関わり、コミュニケーション能力を育て、それぞれのプロフェッショナルの方から話を聞き、学び、研究し、自己の生き方を考えるきっかけをつかんでいただきます。

卒業後に上級学校へ進学したとしても、他の地域へ就職したとしても、いつか再びこの地域に戻り、地域に貢献できるそういう人になることを期待しています。皆さんが生まれ育ったこの素晴らしい地域をさらに発展させてください。

終わりになりますが、

保護者の皆様のご大切なお子様をお預かりいたしまして、私ども、ご家庭と十分連携を図りながら、地域から一層信頼される学校を目指し、教職員一丸となって、教育活動に努めてまいります。

保護者の皆様の、本校への変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、本日入学された新入生の皆さんの大いなる健闘・活躍を心から期待いたしまして、式辞といたします。

令和四年四月八日

北海道長万部高等学校長

濱 田 哲 也